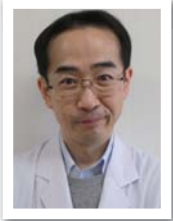


# 病院だより95



## 美祢市立病院 医師の紹介



美祢市立病院  
内科部長 谷川 武人

今年4月より前任の末富健先生にかわり内科の常勤医として勤務させていただいています。このたび光荣にも美祢市の広報に私の自己紹介文を掲載させていただくことになりました。

私は昭和44年の山口市生まれですが、父親の仕事の関係で3才から13才までの間、美祢市の隣の山陽町厚狭で育ちました。そのため、よく友達と一緒に厚狭川で魚釣りをしたり、自転車で厚狭川に沿って美祢市近くの湯ノ峠あたりまで化石を採りに行った思い出があります。また、今では見られなくなりましたが厚狭小学校近くの美祢線を美祢から石灰石を満載した貨物列車が赤いディーゼル機関車にひかれて走ってくる姿をよく見かけていたこともあり、美祢には親近感があります。その後、山口

市に転居し山口高校から山口大学医学部に進学したのち平成5年に医師免許を取得しました。

卒業後に父親と同じ整形外科か、又は内科のどちらに進むべきか、かなり迷いましたが結局、自分の興味がある循環器を主体に診療、研究をしている山口大学医学部第二内科に入局しました。入局後、柳井市の周東総合病院循環器内科に研修医の間、勤務したのち平成7年に山口大学医学部大学院に進学しました。

大学院では正常な犬にペースメーカーを植え込み心臓に高頻度の電気刺激をして人為的に過度な頻脈の状態を持続させることで心不全の状態になった犬を作成し、その犬を使って心不全の病態の一部を解明する研究をしていました。しかし、研究の最初の段階の心不全の犬を安定して作成することに大変難渋しました。

人間では日常的にペースメーカー植え込み術がされていますが、犬専用の機材はなく、しかも山口大学では初めてのことでしたので、その当

時日本で最も実績のあった富山医科薬科大学に上司と二人で見学にも行きました。しかし、なかなか思い通りにはいかず試行錯誤を繰り返しながら徐々に実験が軌道にのり始め、苦勞しつつも何とか学位論文を仕上げることができました。

平成11年に博士(医工学)の学位取得後、愛媛県新居浜市の愛媛労災病院循環器科で5年間勤務したのち平成16年から今年3月まで宇部市の宇部興産中央病院循環器科で勤務していました。今まで循環器内科として心不全、虚血性心疾患、弁膜症、不整脈などの心臓病や高血圧などを主に診療していますが、高齢者はさまざまな他の領域の疾患もかかえており一般内科としても診療に携わってきました。美祢市立病院の数少ない内科の常勤医の一人として自分の専門領域の循環器だけでなく幅広く診療して、美祢市民のみなさんのために少しでもお役に立てるよう頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

問い合わせ先 美祢市立病院(☎0837(52)1700)